

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

まちかどレポート

※撮影の時だけ一時的にマスクを外していただいています。

がんばれ高校生！全国大会に出場する生徒が続々と！

市内の多くの高校生たちが全国高等学校総合体育大会や全国高等学校総合文化祭、全国高等学校校定時制通信制体育大会などの全国大会に出場することとなり、7月12日に市役所を訪れ、関市長へ意気込みや目標などを述べました。皆さん、がんばってください！



- 1 大牟田高等学校（柔道、ソフトテニス、陸上）
 - 2 誠修高等学校（ソフトテニス）
 - 3 三池高等学校（陸上、少林寺拳法、美術・工芸部門）
 - 4 三池工業高等学校（定時制：バドミントン、ソフトテニス）
 - 5 大牟田北高等学校（書道）
- ・ありあけ新世高等学校（定時制：卓球 ※市長表敬は欠席）

海苔を食べて出産をのりきって！

大牟田地区の若手海苔生産業者で構成されている「大牟田地区海苔研究会」が、大牟田市に「福岡有明のり」を贈呈されました。海苔には胎児の正常な発育に欠かせない「葉酸」が多く含まれているため、妊婦さんを応援したいという同会の思いから、贈られたものです。

7月16日から、母子健康手帳と一緒に妊婦さんへのプレゼントが始まりました。





押し花作品集を寄贈

コロナ禍でも植物の自然の美しさを楽しんでもらいたいと、大牟田市出身で世界的に活躍されている押し花作家の杉野直雄さんから、押し花作品集288冊が寄贈されました。寄贈された本は、今後、図書館や学校図書館、通所介護施設に寄贈される予定です。



給食を通して世界遺産をPR

三池炭鉱関連資産の世界文化遺産登録6周年を記念し、大牟田市立の全小中学校の給食で、世界遺産にちなんだメニューが登場しました。中学校では、石炭をイメージして作られた「鶏肉のごま味噌絡め」を食べた生徒たちから「味がしっかりとっていておいしかった」と好評でした。



令和2年7月豪雨を振り返って

令和2年7月豪雨から1年経過した7月6日、みなと小学校で「防災・減災を考える日」が開催され、子どもたちは地域の人や行政職員らと一緒に昨年を振り返りながら、改めて災害の怖さや防災・減災の大切さを学びました。また、防災士の皆さんから避難所で役立つグッズの作り方を学び、簡易トイレや簡易スリッパなどを作りました。



大牟田北高、書道甲子園へ！

大牟田北高書道部が第14回書道パフォーマンス甲子園へ九州代表で出場することになり、7月8日、関市長へ出場を報告。昨年はコロナ禍で中止となっていたため「先輩たちの思いも背負って力いっぱい演技します」と抱負を語りました。



消防団活動支援自動販売機の設置

消防団の法被姿のジャー坊がデザインされた自動販売機が、市内5カ所の消防団格納庫に設置されました。売上の一部が消防団の活動支援として寄附されるほか、大規模災害時には飲料水が無料で提供されることになっています。